



2016年3月期 決算説明会

富士機械製造株式会社

May. 2016

※本資料における業績予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境での入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因により大きく異なることがありますことをご承知おきください。

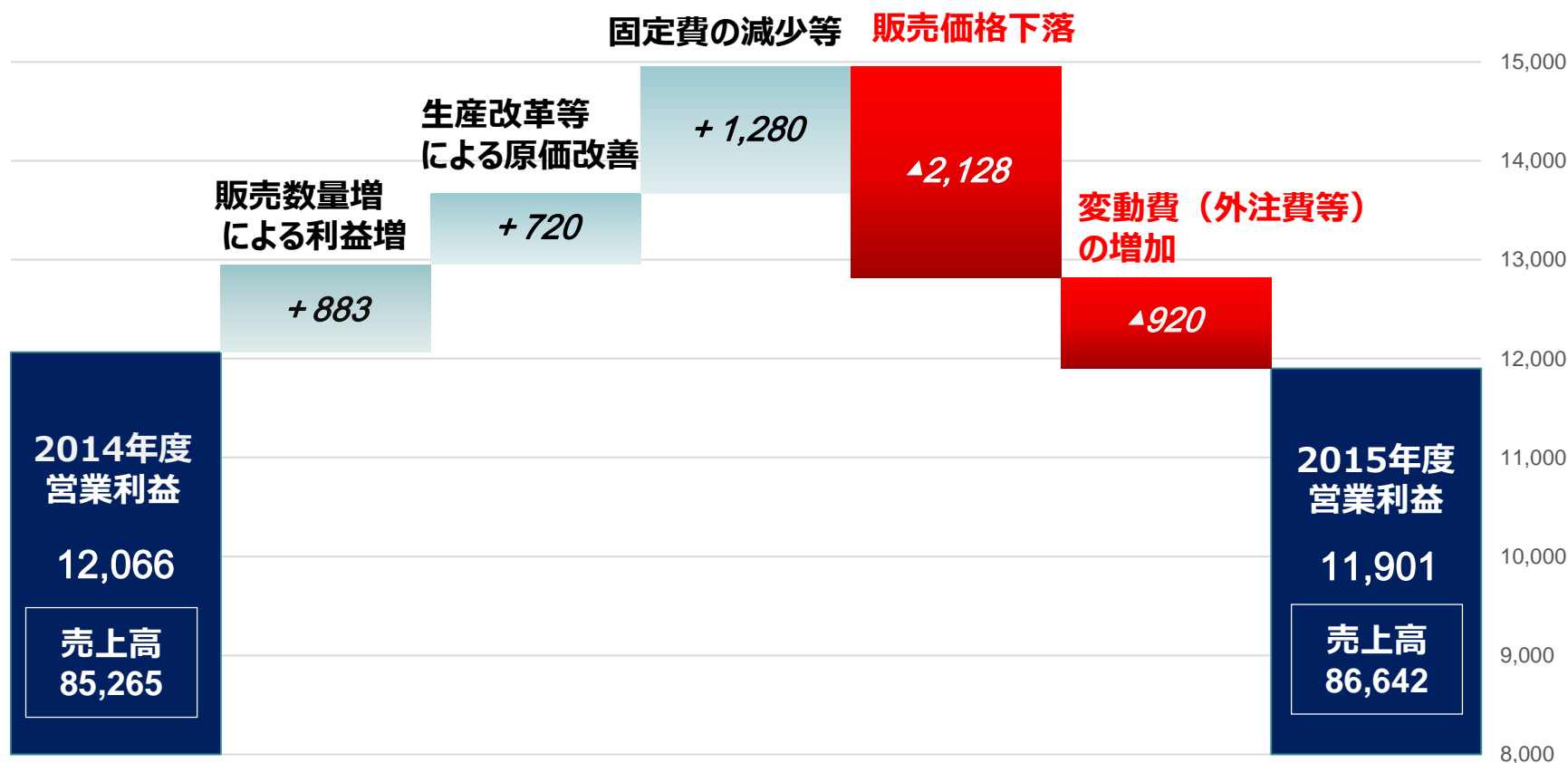
連結経営成績

(百万円)

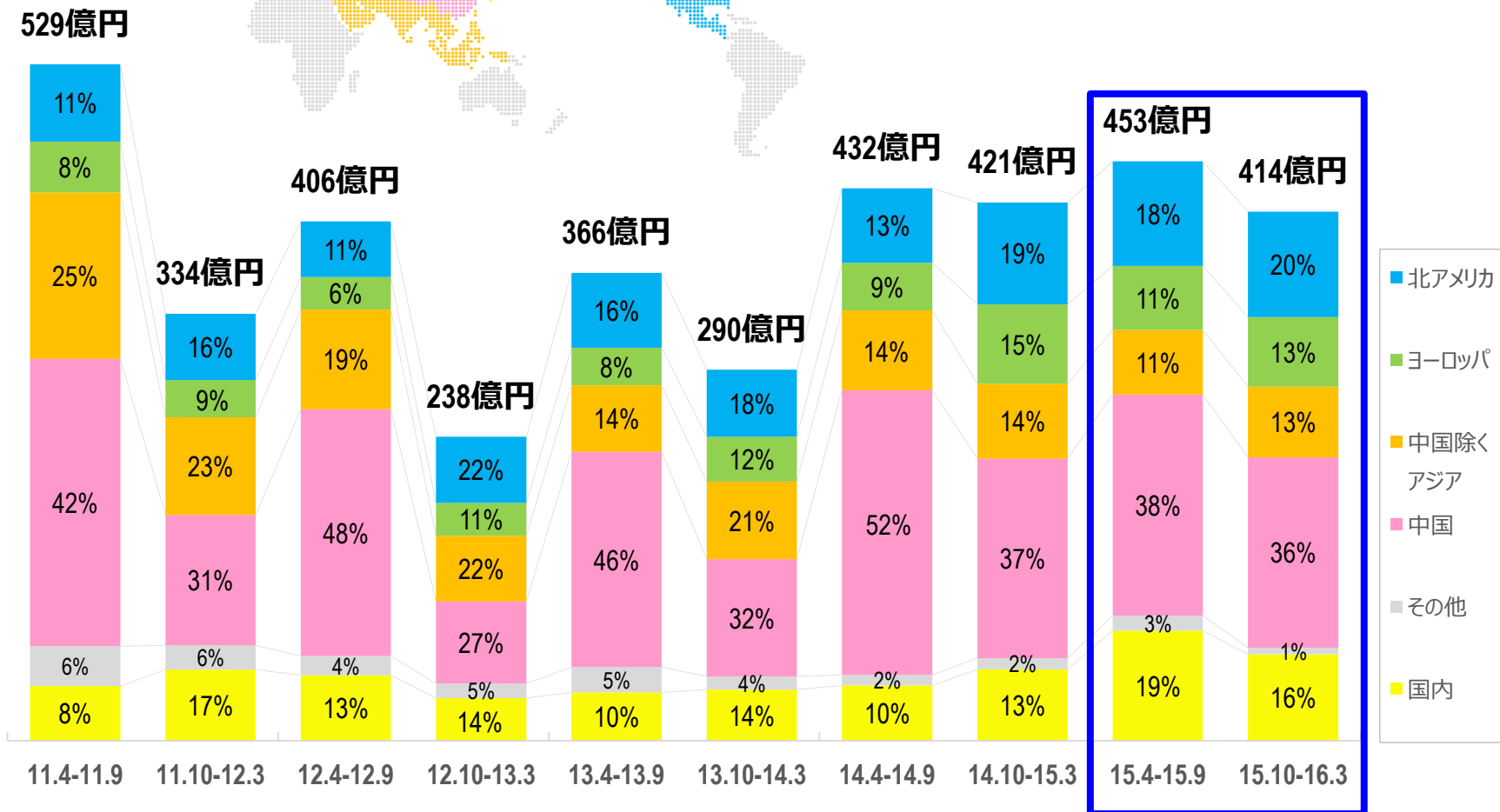
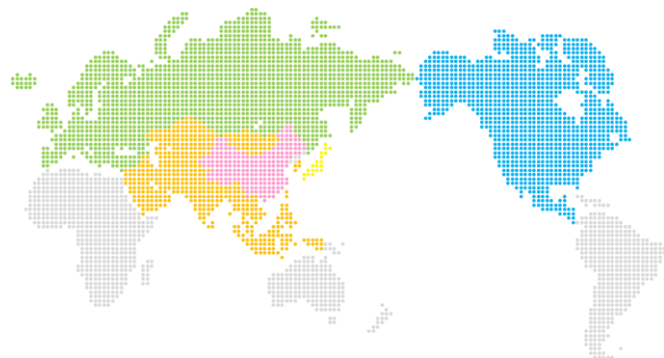
	14.4-15.3実績	15.4-16.3予想 (2016.2.10発表)	15.4-16.3実績	対前期増減	対予想増減
受注高	92,019	83,000	82,651	▲9,368	▲349
売上高	85,265	82,000	86,642	+1,377	+4,642
営業利益	12,066	10,200	11,901	▲165	+1,701
経常利益	13,026	10,800	11,991	▲1,035	+1,191
当期純利益	8,629	7,200	7,237	▲1,392	+37
					(円)
1株当たり 当期純利益	88.27	73.65	74.13	▲14.14	+0.48
1株当たり 配当金	28.00	28.00	28.00	±0	±0

営業利益増減分析

(単位：百万円)



地域別売上高



セグメント別実績

(百万円)

電子部品 組立機	14.4-15.3実績	15.4-16.3予想 (2016.2.10発表)	15.4-16.3実績	対前期増減	対予想増減
受注高	75,627	68,000	68,408	▲7,219	+408
売上高	73,584	67,000	70,786	▲2,798	+3,786
営業利益	15,223	---	14,527	▲696	---
受注残高	11,688	12,688	9,310	▲2,378	▲3,378

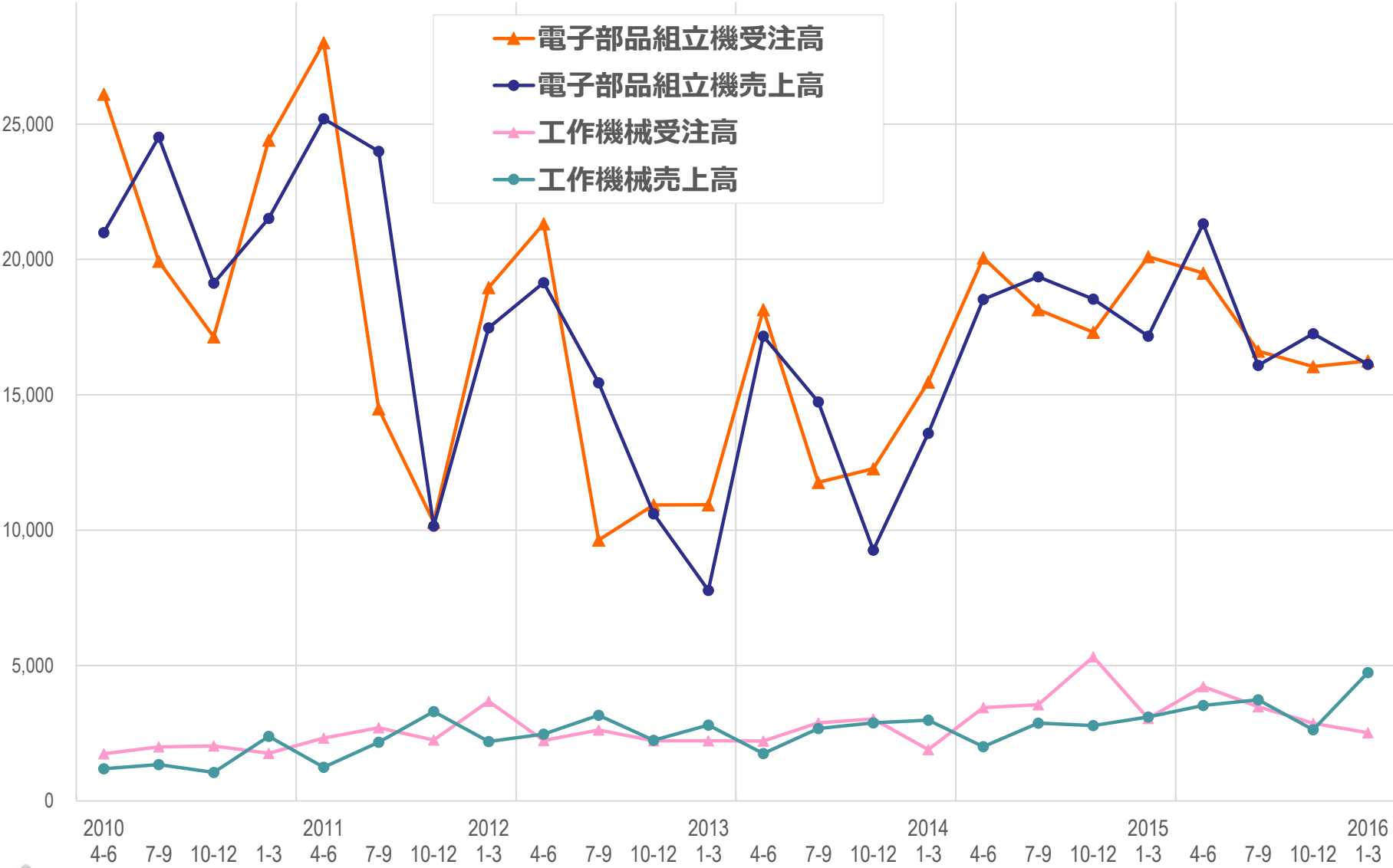
(百万円)

工作機械	14.4-15.3実績	15.4-16.3予想 (2016.2.10発表)	15.4-16.3実績	対前期増減	対予想増減
受注高	15,361	13,500	13,080	▲2,281	▲420
売上高	10,756	13,500	14,623	+3,867	+1,123
営業利益	▲203	---	614	+817	---
受注残高	8,417	8,417	6,874	▲1,543	▲1,543

連結業績

四半期別受注高・売上高

(単位：百万円)



連結業績予想

(百万円)

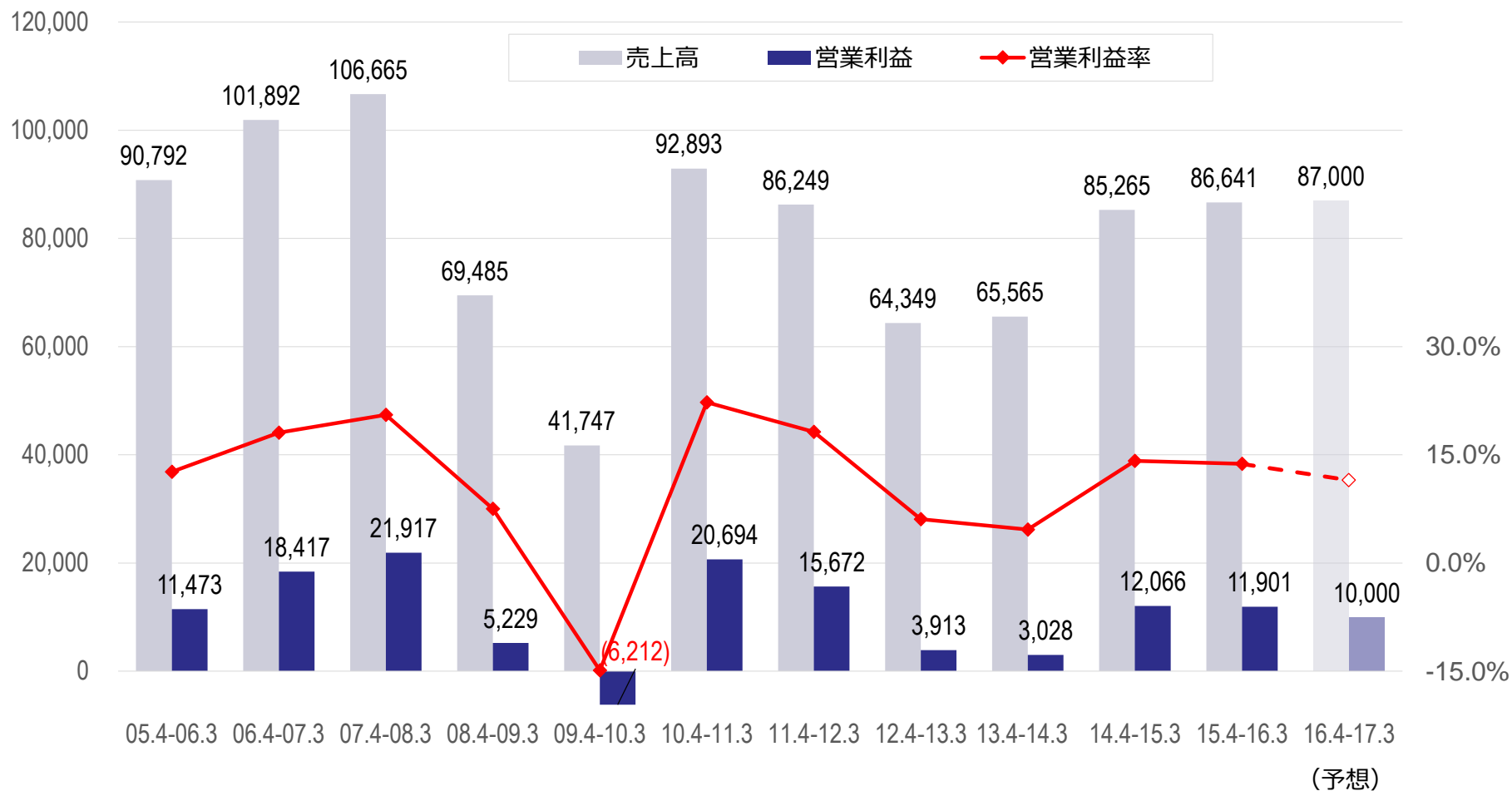
	15.4-16.3実績	16.4-16.9 上期予想	16.4-17.3 通期予想	対前期増減
受注高	82,651	45,000	89,000	+ 6,349
売上高	86,642	45,000	87,000	+ 358
営業利益	11,901	5,700	* 10,000	▲ 1,901
経常利益	11,991	5,900	10,300	▲ 1,591
当期純利益	7,237	4,100	7,300	+ 163

* 前期の退職給付計算における数理計算上の差異の一括費用処理が約9.5億含まれます。うち、約4.9億が予定割引率変更、約4.6億が資産運用のマイナスによるものです。前期は、前々期の数理計算上の差異約プラス5.4億を費用のマイナスとして処理したため、翌期の営業利益への対前期比影響額は約マイナス14.9億円になります。

1株当たり 当期純利益	74.13	42.65	75.94	+ 1.81
1株当たり 配当金	28.00	15.00予定	30.00予定	+ 2.00

連結売上高・営業利益推移

(百万円)



セグメント別業績予想

(百万円)

受注高

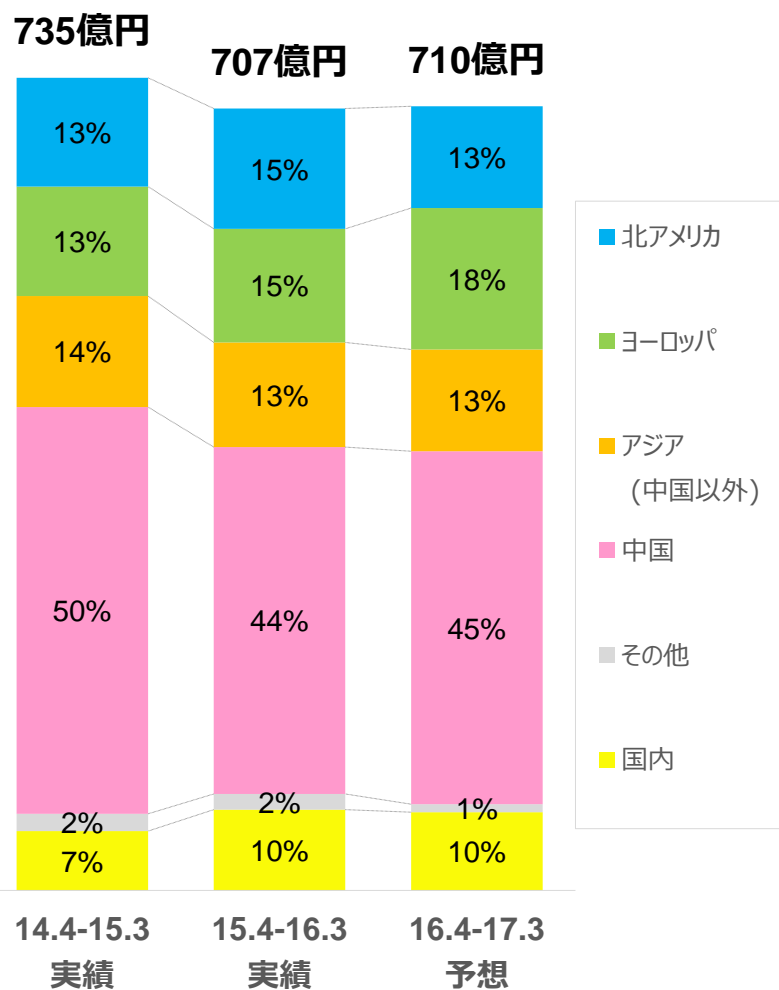
売上高

受注残高

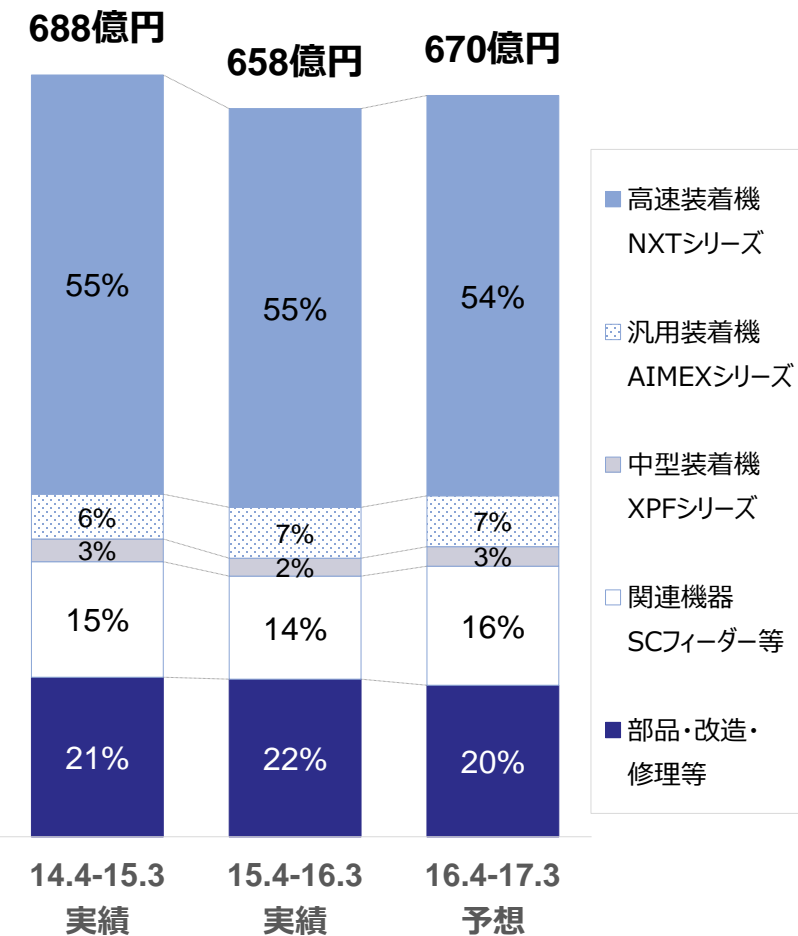
	受注高			売上高			受注残高		
	15.4-16.3 実績	16.4-17.3 予想	対前期 増減	15.4-16.3 実績	16.4-17.3 予想	対前期 増減	16.3 実績	17.3 予想	対前期 増減
電子部品 組立機	68,408	72,500	+4,092	70,786	71,000	+214	9,310	10,810	+1,500
工作機械	13,080	14,500	+1,420	14,623	14,000	▲623	6,874	7,374	+500
その他	1,162	2,000	+838	1,232	2,000	+768	165	165	±0
合計	82,651	89,000	+6,349	86,642	87,000	+358	16,350	18,350	+2,000

電子部品組立機

地域別売上高（連結）

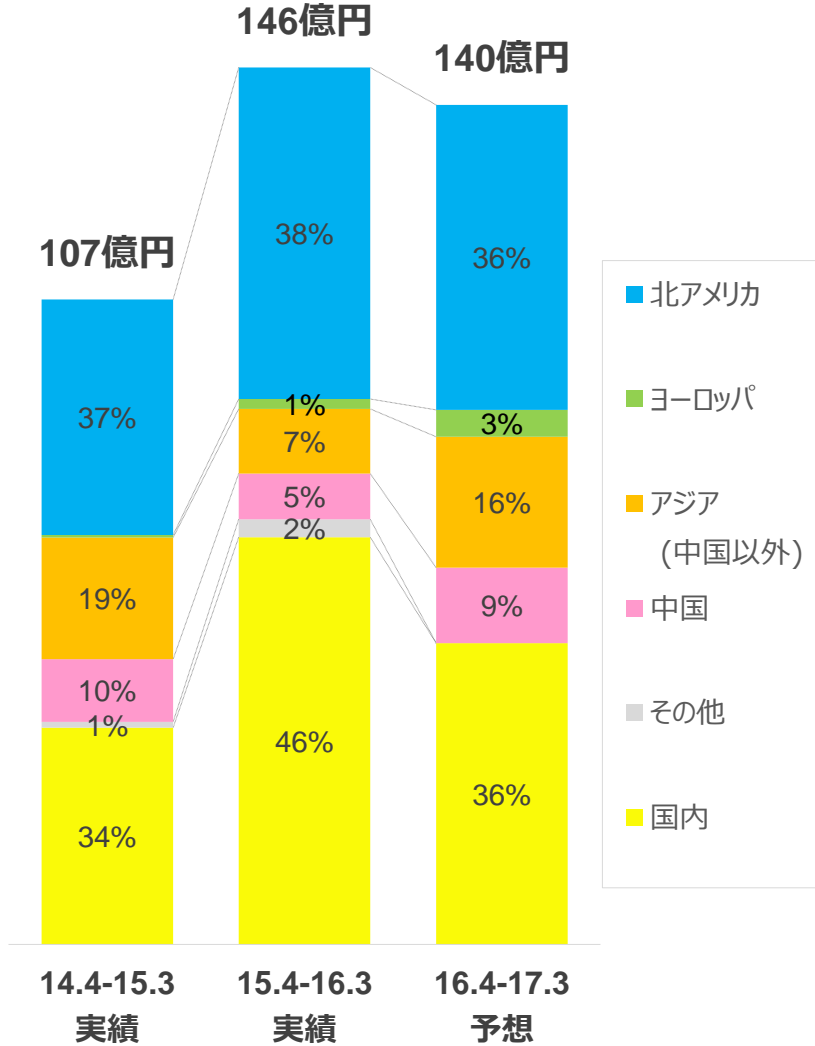


機種別売上高（単体）



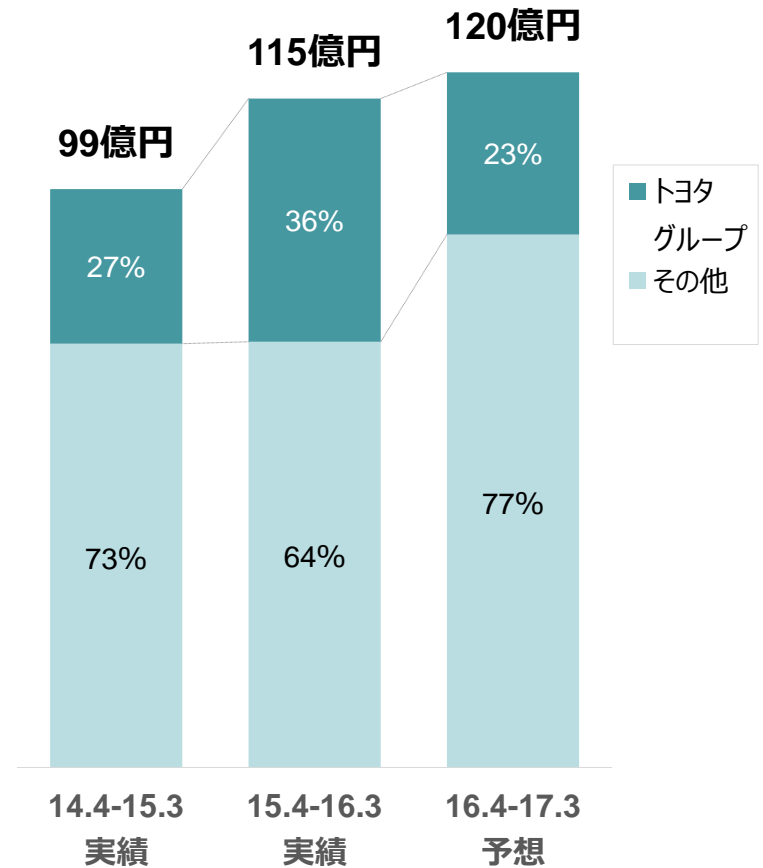
工作機械

地域別売上高（連結）

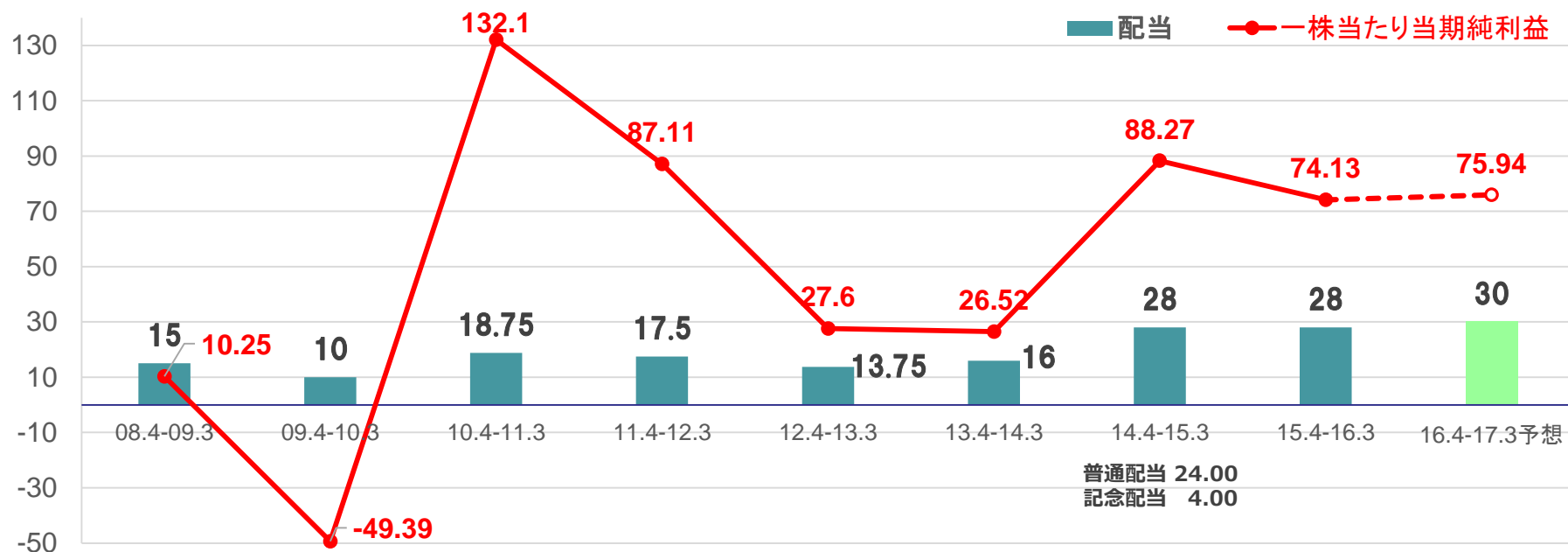


主要ユーザー別売上高

（単体）



1株当たり当期純利益・1株当たり年間配当金



	08.4-09.3	09.4-10.3	10.4-11.3	11.4-12.3	12.4-13.3	13.4-14.3	14.4-15.3	15.4-16.3	16.4-17.3 予想
配当性向	146.3%	△20.2%	14.2%	20.1%	49.8%	60.3% (45.2%)	31.7% (27.2%)	37.8%	39.5%

注:2013年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

上記では当該株式分割が2009年3月期の期初に行われたと仮定して算出しております。

() 普通配当の配当性向

自己株式の取得について

2016年3月10日～2017年2月28日の期間で上限9,000,000株を予定（発行済株式総数*に対する割合9.21%）*自己株式を除く

2016年4月30日までに取得した株式の総数：2,430,100株（参考：3月31日までに1,630,000株取得）

中期経営目標（2015～2017）

新しい価値を創造し、名実ともに1,000億円企業を実現

電子部品組立機

「ネクストステップ 30」

- ・次期戦略機の市場投入
- ・市場開拓とサービスの強化

工作機械

「Challenge 200」

- ・DLFnを旗艦機種に導く
- ・販売・サービス力の強化

新規開発

「新事業創出」

- ・ロボットイノベーションの創出
- ・新技術の創出とコア技術の深耕

調達・生産

「調達生産革新」

- ・調達、生産物流の再構築
- ・QCDのあくなき追求

ロボットで未来を拓く富士機械製造

「企業価値向上に向けた全社的取組み」

- ・組織力の強化
- ・コンプライアンスの遵守
- ・ワークスタイルの変革
- ・ICT、IoTの推進
- ・戦略的財務・経理体制の強化と推進
- ・グローバルな情報開示



電子部品組立機事業

事業部方針

『ネクストステップ30』～真のNo.1ブランドの確立～

事業環境

■マクロ経済

- ▶ アメリカは堅調、欧州やや足踏み。
- ▶ 中国の景況感は産業別格差が顕著。
- ▶ 日本国内、円高・株安懸念もあり一進一退。

■マウンター需要

- ▶ 市場規模：2015年度 約2,200億円(上期1,300億円、下期900億円)
2016年度 約2,200億円(上期1,300億円、下期900億円)予想
- ▶ 展 望 :中国中心に底堅く推移
業界内提携の加速(トータルソリューション需要の増加)
通信端末中国ローカルブランドのさらなる台頭
自動車の電子化進展
(燃費軽減、安全対策、情報処理…)

電子部品組立機事業

事業戦略

『お客様第一主義に基づく需要の創出』

営業

- ▶ 成長市場(車載、スマート機器関連)顧客の獲得
- ▶ SMT前後工程市場の攻略
- ▶ 顧客満足度の高い提案型営業
- ▶ 顧客サービス力の向上ならびに均一化

開発

- ▶ 迅速なる新製品開発、統合生産システム開発
- ▶ 高付加価値実装、自動化・省人化対応
- ▶ 徹底したVA、コストダウン設計
- ▶ I-4.0、IoTへの対応推進

生産

- ▶ 業界最高品質の提供、短納期対応
- ▶ サプライチェーン改革によるQCD向上
- ▶ フレキシブルな生産体制の構築

電子部品組立機事業 主要製品

NXTP-M35



はんだ印刷機

NXT
Fuji Scalable Placement Platform



電子部品実装ロボット

電子部品装着機

AIMEX III C



汎用組立機

New Release

スマートファクトリーを
実現するキーシステム

NEXIM

統合生産システム



Smart FAB

工作機械事業

事業部方針

『Challenge 200』

事業環境

- 内需が堅調な伸び、外需も緩やかな伸びが続く（日工会）
- ◆ 2016年(暦年)受注目標: 1兆5,500億円(2015年目標と同じ)
- ◆ 2015年(暦年)受注実績: 1兆4,800億円台
- ◆ 潜在する更新需要喚起への政府助成に期待

事業戦略

『構造改革による利益体質の構築』

営業

- ◆ DLFnの拡販
- ◆ 海外展開の拡大、商社との連携強化

開発

- ◆ DLFnシリーズの充実
- ◆ 既存商品の強化と新技術(IoT等)活用

生産・ 機械加工

- ◆ DLFn生産体制の確立
- ◆ リードタイム半減、短納期対応

工作機械事業 主要製品



CSD300

正面2スピンドル旋盤



TN400R

横型NC旋盤



DLFN

モジュール型生産設備

FUJIの革新的なロボット技術

スマートファクトリー

ミニチュアファクトリー



高精度・高生産性



革新的なロボット技術の展開

第6回 ロボット大賞



高精度・高生産性・低衝撃

自動化技術

画像処理

IoT装置
情報の収集

トレーサ
ビリティ

自動段取

高速・高精度
サーボ制御

成長戦略

電子部品実装ロボット (ロボティックマウンター)

工作機械 (ロボット自動搬送システム)

ロボットメーカー
としての
躍進

ロボット技術で新しい価値を創造

効率的な資金活用による迅速な施策実現

販売力
強化

研究開発

ものづくりアライアンス

M&A

資本参加

コアテクノロジー

ソフトウェア

リニアモーター
等自社開発

解析技術

製造技術

ロボット開発を支える
FUJI Robo Components

商品化
外販

生産の
自動化

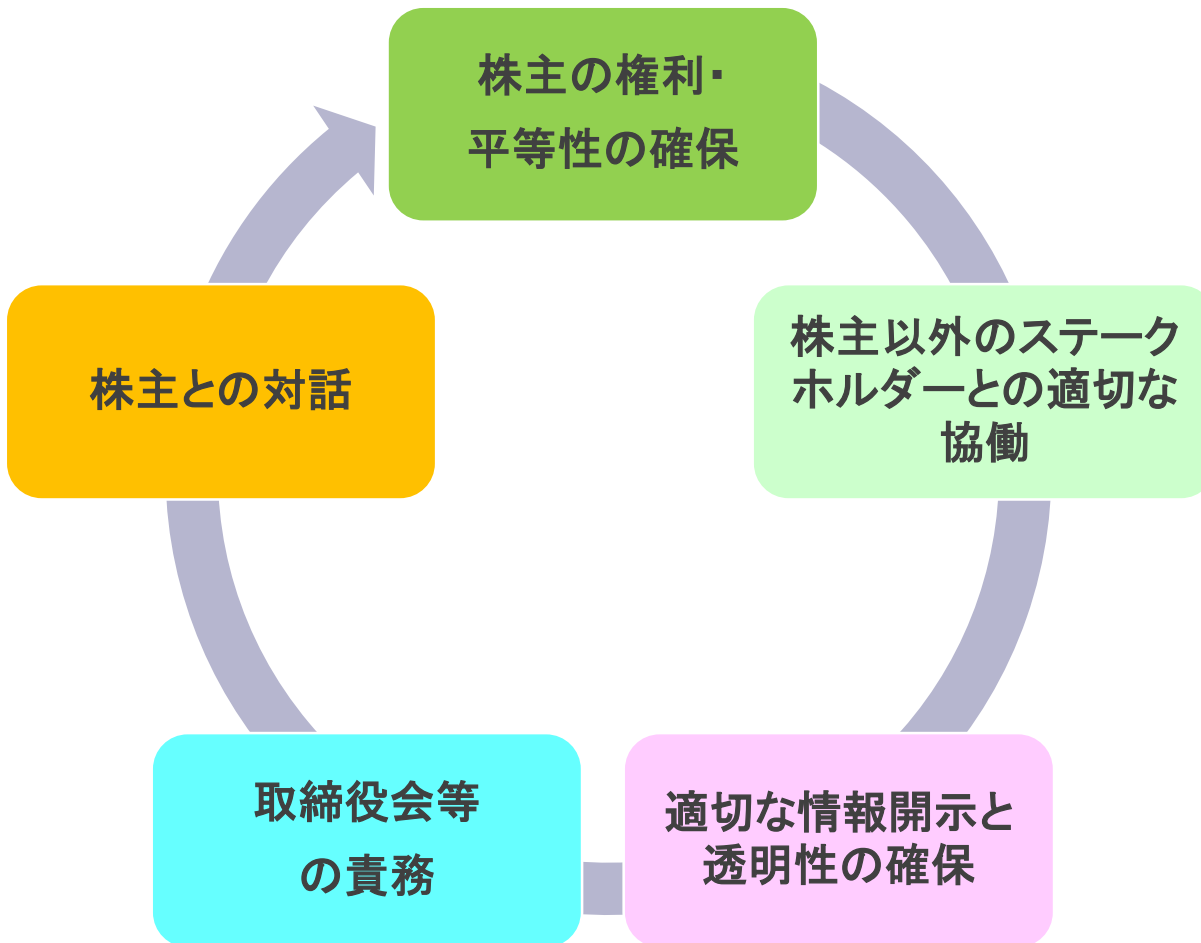
高精度

生産性

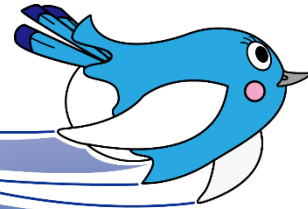
スマートファクトリー

コーポレートガバナンス・コード

当社はコーポレートガバナンス・コードを踏まえて、
企業価値の向上を目指してまいります。



1. 株主の権利・平等性の確保
 - ・英文開示の充実
 - ・招集通知の発送前電子開示
2. 株主以外のステークホルダーとの適切な協働
 - ・女性の活用を含む社内の多様性の確保
 - ・取引先・地域社会との絆
 - ・生き生きと働ける活力ある職場づくり
3. 適切な情報開示と透明性の確保
 - ・コーポレートガバナンス報告書等への開示
 - ・ホームページでの適切かつタイムリーな情報開示
4. 取締役会等の責務
 - ・取締役会の迅速な意思決定と業務の執行機能による経営のスピード化と責任の明確化
 - ・独立社外取締役の活用
5. 株主との対話
 - ・I R説明会開催、S R面談の随時対応



FUJI robots lead the innovation

ロボットの未来を拓く富士機械製造